



在宅医療・介護連携を「輪」でつなぐ・・・

WAO!通信

【発行元】

泉佐野泉南医師会 地域連携室

〒598-0063 泉佐野市湊1-1-30

☎072-464-6123 FAX 072-464-6133

E-mail renkei@sano.osaka.med.or.jp

URL http://www.sano.osaka.med.or.jp

わ・リレーコラム

第76走者



医師

やながわ としお
楊川 寿男先生

(認知症サポート医)

あんじゅ
ホームケアクリニック

【泉佐野市】



私は、2026年4月に泉佐野市日根野で『あんじゅホームケアクリニック』を開業致しました、楊川寿男（やながわとしお）と申します。

私は2019年から佐野記念病院で勤務させて頂き、最初は脳神経外科の仕事が主でしたが、私の希望で徐々に在宅医療（訪問診療）の仕事を増やして頂き、現在訪問診療と認知症診療を主な仕事としております。

訪問診療は、病気等で通院が困難な方に対して行われますが、認知症の方も通院が難しいことが多く、また認知症でなくても足腰が弱ったり、心肺機能が落ちたりすると、通院が困難となり、訪問診療開始となります。訪問診療（在宅医療）は、自宅、施設で医療（治療）を行い、看取りを行うこともありますが、その中で心残りに思うのは、本人の希望ではなく（もしくは希望が分からず）、家族の希望で今後の方針を決めないといけないことが多々あることです。元気な時に考えるのは難しいことですが、病気になったら、認知症になったら、どこまで医療を受けたいか等、本人があらかじめ決めておく、家族に話しておくことができれば、それに越したことはありませんので、一度実践してみてください。また意思が確認できない・できていない場合は、できるだけ本人の立場になって想像して、最善の方法を考えてあげてください。

今月のWAOさん

【阪南市】阪南市 健康福祉部 介護保険課

北山 弘さん

（阪南市役所 健康福祉部 介護保険課）
北山と申します。主に権利擁護業務と認知症施策の全般を担当しております。
私事ですが、十数年前、プラモデル[1/200スケール 戦艦大和（全長130cm）]を大人買いしたものの、当時勤めていた地域包括支援センターがあまりにも多忙であったため、いつしか手付かず状態に。家族からも「そんなもんどこ置くん」と追い打ちを受け、現在も建造途中のまま。「鉄は熱いうちに打て」この言葉を忘れず日々の業務にも取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

今後の予定

3市3町多職種連携研修会

令和8年9月12日（土）、りんくう教育研修棟にて、3市3町多職種連携研修会を開催します。『コミュニケーションエラーを防ぐには！』というテーマで元吉本興業お笑い芸人のWマコトのおふたりにご講演いただきます。案内は7月中旬ごろです。ぜひお早めにお申込みください！



連携で困ったときは



連携室へ電話 **しろしろ いちにさん**
072-464-6123